

結成 10 周年

ソニードギター合奏団

第 7 回定期演奏会



後援：浦添市教育委員会
九州ギター音楽協会

平成 26 年 4 月 13 日（日）

開場 午後 6 時

開演 6 時 30 分

パレット市民劇場

プログラム

✿第一部✿ ギター合奏

- ☆ 芭蕉布
- ☆ 日本古謡
- ☆ ロシア民謡メドレー
- ☆ 童神
- ☆ 粉屋の踊り

✿第二部✿ ギター独奏・小編成

- ☆ この道 島袋 操
- ☆ ショーロス 第1番 又吉 均
- ☆ ミスター・ロンリー 仲村麗子・中井 実
- ☆ 紫陽花 玉城達也・島袋 操
- ☆ 愛のアランフェス (ギター&リコーダー) 又吉けい子・糸数ノリ子姉妹
- ☆ 愛のロマンス (フラメンコ) 宮本三郎・西原健二・親泊正善
- ☆ 秋桜 ふえーぬかじギターカルテット

休憩

✿第三部✿ ギター合奏

- ☆ 東京ブギウギ
- ☆ 踊るポンポコリン
- ☆ サザエさん
- ☆ 星のフラメンコ
- ☆ 古賀メロディー
- ☆ 異邦人
- ☆ ジェラシー

* 曲目解説 *

- ☆ **芭蕉布** NHKの名曲アルバムにも紹介され、全国でも広く愛唱されている沖縄を代表する普久原メロディです。
- ☆ **日本古謡** 古くから歌い継がれてきた3つのわらべ唄「通りやんせ」「さくらさくら」「山寺の和尚さん」をメドレーでお送りします。テンポの変化が興趣に富んでいます。
- ☆ **ロシア民謡メドレー** 誰もが一度は口ずさんだことのある代表的なロシア民謡「カチューシャ」「トロイカ」を軽快なリズムで、続いて三拍子のリズムで「山のロザリア」をゆったりと、最後に転調しながら「一週間」をテンポを変化させながら締めくくります。
- ☆ **童神** 「天からぬ恵み 受きてくぬ 世界(しけ)に…」何という心が洗われるような歌詞でしょう、「天ぬ光受きて 高人(たかっちゅ)なっていたぼり」。地球に希望が持てる未来を感じさせます。
- ☆ **粉屋の踊り** ファリヤのバレエ音楽「三角帽子」の中の第2幕に出てくる「ファルッカ」。初演時は第一次世界大戦のため、パントマイムとして上演、その時の舞台・衣装デザインは何んとあの“パブロ・ピカソ”が起用されている。曲の冒頭、全体で主和音をフォルティシモで弾いた直後にギターソロが入ります。
- ☆ **この道** 北原白秋が晩年に旅行した北海道と、母の実家である福岡県南関町から柳川までの道の情景が歌い込まれている日本の名歌曲。ギターの纖細で美しい音色で奏できます。
- ☆ **ショーロス 第1番** ブラジル出身の作曲家ヴィラ・ロボスが「ギターとオーケストラのためのショーロス（ブラジル風セレナード）への序奏」として1920年に第1番ギター独奏曲として

作曲した。「合唱、オーケストラと吹奏楽の作品第14番」迄あります。

- ☆ **ミスター・ロンリー** かつて、この曲はFM東京の深夜番組のテーマミュージックとして流された曲です。今回はギターの二重奏でお送りします。3連符のかけ合いが心地よく、聞いている人にも「さわやかさ」が伝わると曲です。
- ☆ **紫陽花** NHKの大河ドラマ「龍馬伝」のギター演奏でも人気を博した高知県出身の若手ギターデュオ「いちむじん」のヒット曲です。一見、無調性音楽のように思えるほのぼのとした音が実に素敵な曲です。
- ☆ **愛のアランフェス** ソニードで初めての試みでギターとリコーダーの二重奏です。曲はロドリーゴの有名な「アランフェス協奏曲」の第2楽章です。
- ☆ **愛のロマンス** 映画「禁じられた遊び」の中で「愛のロマンス」としてナルシソ・イエペスが弾いて一躍世界に知られた曲です。「コーヒールンバ」とメドレーでフラメンコ風にアレンジしたものです。
- ☆ **秋桜** 山口百恵が1977年にリリースして大ヒットした。当初は「小春日和」というタイトルだったが「秋桜」に変更になり、「コスモス」というそれまでになかった読み方が広まるようになったと云われています。「日本の歌百選」にも選ばれています。
- ☆ **異邦人** 元々のタイトルは「白い朝」だったと言われています。CMで使うため、異国情緒に訴える題材としてシルクロードを選びエキゾチックなイメージを加味して編曲されて発売され、大ヒット曲に。
- ☆ **ジェラシー** コンチネンタルタンゴとして世界的に大ヒットとした名曲。アルフレッド・ハウゼ楽団、マランド楽団がコンチネンタルタンゴの人気を二分し日本でも親しまれています。

ごあいさつ

那覇市内の4つの公民館のギターサークルから選ばれた11名で結成されたギターサークル「アーマン」が、2004年に団体の名称を「ソニードギター合奏団」と改称して出発してから今年で10周年を迎えることができました。

これも偏に皆様方の暖かいご支援の賜物であり、心より厚くお礼を申し上げます。

現在は浦添市中央公民館で毎週火曜日夜7時～9時迄を練習時間として研鑽を積んでおり、メンバーは男性14名、女性13名、計27名の充実した陣容となっています。

少人数のギターサークルは県内にありますが、20名を超える本格的なギター合奏団としては県内唯一で、演奏はクラシックから童謡、歌謡曲など幅広いジャンルに亘っており、老若男女がギター合奏を楽しんでいます。

また、合奏のみならず、昨年2月からファミリーコンサート（団員身内の演奏会）を5回実施して独奏、二重奏、三重奏や四重奏などの小編成による演奏にも取り組み、技術向上と楽しいサークル運営を目指して活動しております。本日はクラシックギターの柔らかな繊細な音、表現力に富んだギター音楽の良さを多くの人に感じて頂ければ、我々団員一同このうえない喜びであります。

スプリングコンサート、クリスマスコンサート、チャリティーコンサートの実施や、県内ギターサークル団体「虹の音の会」の演奏会への参加、浦添市公民館まつりへの参加、県警ホールや大名老人クラブ・ホーム喫茶でのボランティア演奏、また、南風原町の学校支援事業としての学習支援で「音楽」教科・器楽でギターの授業支援への参加等、精力的に幅広い活動に取り組んでいます。

最後になりましたが、皆様の日頃の暖かいご支援、ご協力に団員一同心よりお礼を申し上げます。
本日はどうぞ最後までごゆっくりとお楽しみください。

ソニード 10 年の主な歩み

- 2003年6月 ソニードの前身ギター合奏団「アーマン」が牧野哲仁氏の主宰で結成される
2004年 「ソニード」と改名して浦添市中央公民館を拠点として活動する
2006年3月 第1回定期演奏会（おきでんふれあいプラザ）
2007年4月 第2回定期演奏会（ているる）
2008年4月 第3回定期演奏会（ているる）
2008年6月 牧野氏から運営を引き継いで、自主活動サークルとして10名でスタートする
2008年12月 クリスマスコンサート（第4回定演）
2010年12月 チャリティーコンサート（第5回定演）
2012年 4月 スプリングコンサート（第6回定演）
2013年 第1回～第5回ファミリーコンサート

※「ソニード」とは：スペイン語で“音・音色”



団員紹介

- Aグループ： 伊豆味玲子・上地安弘・吳屋和子
佐野周作*・中井 実・仲村麗子
西原健二・比嘉範子・比嘉永廣
- Bグループ： 石田まつ代・内原和美・親泊正善
金城茂子・北村 悅・金城 薫・武村クニ子
島袋 操・与那嶺光國
- Cグループ： 伊禮孝子・上江洲洋子・翁長世子
新屋 勉・棚原清信・玉那霸康一郎
又吉けい子・又吉 均・宮本三郎
- 指揮： 玉城達也
- ベース： 山里三也（沖縄交響楽団）*
- パーカッション： 伊藤範雄*・玉城 進*
- リコーダー： 糸数ノリ子*・奥田史子*
- 司会： パーパス五枝*

*氏名は五十音順 *は賛助出演